

CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	松本木材(株) 様 工場新築工事	階数	地上1F		
建設地	熊本県荒尾市	構造	S造		
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	18 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	2,070 時間/年		
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2015年12月 予定	評価の実施日	2015年9月7日		
敷地面積	33,058 m ²	作成者	(有)佐々木設計室		
建築面積	9,812 m ²	確認日	-		
延床面積	9,800 m ²	確認者	-		

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

環境品質 Q

環境負荷 L

BEE = 1.0

■ BEE(環境効率) = $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	-
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	-
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	-
C	★	劣る	0.5未満	-

■ ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)

☆☆☆☆☆

排出率

52%

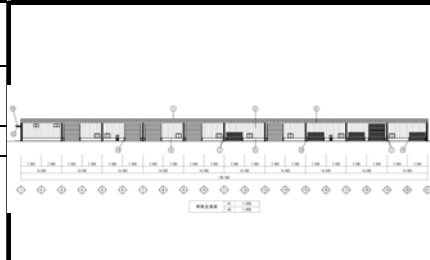
2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価		評価点												
		78												
<p>【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進</p> <p>【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現</p> <p>【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全</p> <p>【重点事項4】 循環型社会の実現</p>	<p>評価点</p> <p>96.4</p> <p>61.6</p> <p>62.5</p> <p>75.0</p>	<p>■ 熊本県重点評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判定値(評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※評価点は、100点以上が推奨です。</p>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上														
80点以上100点未満														
60点以上80点未満														
40点以上60点未満														
40点未満														

CASBEE® 熊本 《新築》 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	松本木材(株) 様 工場新築工事	階数	地上1F
建設地	熊本県荒尾市	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	18 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,070 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年12月 予定	評価の実施日	2015年9月7日
敷地面積	33,058 m ²	作成者	(有)佐々木設計室
建築面積	9,812 m ²	確認日	-
延床面積	9,800 m ²	確認者	-



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 52%
 ③上記+②以外の 52%
 ④上記+ 52%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価 評価点 = 78

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 評価点 = 96.4

重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 評価点 = 61.6

重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 評価点 = 62.5

重点事項4: 循環型社会の実現 評価点 = 75.0

重点事項の評価(レーダーチャート)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版
松本木材㈱ 様 工場新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.5
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1 室温								
2 外皮性能								
3 ゾーン別制御性								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策								
1 昼光制御								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
2 アスベスト対策								
4.2 換気								
1 換気量								
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮								
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								
Q2 サービス性能			0.43					3.4
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観								
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画								
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性		2.8	0.50					2.8
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.25					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	カラー鉄板30年	5.0	0.25					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-	-					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	-					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-	0.25					
6 主要設備機器の更新必要間隔	屋外キュービクル20年	4.0	0.25					

2.4 信頼性			2.3	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.33			
2	給排水・衛生設備		-	-			
3	電気設備		3.0	0.33			
4	機械・配管支持方法		1.0	0.33			
5	通信・情報設備		-	-			
3 対応性・更新性			4.0	0.50			4.0
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30			
1	階高のゆとり	階高6.5m	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比0.081	5.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり		積載荷重4000N/m ²	4.0	0.30			
3.3 設備の更新性			3.4	0.40			
1	空調配管の更新性		-	-			
2	給排水管の更新性		-	-			
3	電気配線の更新性	ケーブルラックを使用	5.0	0.20			
4	通信配線の更新性		-	-			
5	設備機器の更新性		3.0	0.40			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.40			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57			1.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40			2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.4
LR1 エネルギー			-	0.40			4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			2.0	-			2.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13			3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 -	5.0	0.63			5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI 0.08	5.0	1.00			
集合住宅の評価(3c)			-	-			
4 効率的運用			2.0	0.25			2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		1.0	0.50			
集合住宅の評価			-	-			
4.1	モニタリング		3.0	-			
4.2	運用管理体制		-	-			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			2.7
1 水資源保護			3.0	0.20			3.0
1.1 節水			-	-			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	1.00			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60			2.5
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	1.00			
3	冷媒		-	-			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.5
1 地球温暖化への配慮		LCGO2排出量52%	4.9	0.33			4.9
2 地域環境への配慮			2.8	0.33			2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制		3.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.50			
2	振動		3.0	0.50			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		1.0	-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	1.00			
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	-			

CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

-

Q1 室内環境

-

Q2 サービス性能

外壁材にカラー鉄板（補修必要間隔30年）を使用し長寿命化を図っている

Q3 室外環境（敷地内）

視線を遮らない低木の設置により防犯性に配慮している

LR1 エネルギー

LED照明を採用し省エネルギー化に努めている

LR2 資源・マテリアル

一部柱に冷間成形角型鋼管BCRを使用している

LR3 敷地外環境

適切な台数の駐車場を配置、搬入車両用スペース・経路等を考慮している
ライフサイクルCO2排出率52%とし、地球温暖化防止に取り組んでいる

その他

-

熊本市重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 松本木材(株)様 工場新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本市重点評価結果					総合評価点		78
重点事項					評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数				
① 温室効果ガス排出量削減の推進					96.4	0.40	38.56
Q1-2.1.2	外皮性能	0.0	0.00				
Q1-3.1.3	昼光利用設備	0.0	0.00				
Q1-3.2.1	昼光制御	0.0	0.00				
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	2.0	0.00				
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.29				
LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.43				
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.14				
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.14				
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現					61.6	0.20	12.32
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	0.0	0.00				
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.33				
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.20				
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.27				
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.20				
③ 県の地域資源の有効活用と保全					62.5	0.20	12.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.50				
LR2-1.1	節水	0.0	0.00				
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.50				
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00				
④ 循環型社会の実現					75	0.20	15.00
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30				
Q2-3	対応性・更新性	4.0	0.30				
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10				
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15				
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15				

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数